

令和4年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

施設名	大和市子安児童館
指定管理者	大和市子安児童館管理運営委員会
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

・児童館施設の承認に関する業務

(単位:人)

児童館名	幼児	小学生	中学生	その他 (高校生付 添父母等)	合計	1日平均	開館日数 (日)
子安	66	1,696	50	398	2,210	7.2	306

・児童館の事業および管理運営に関する業務

火曜日～金曜日と日曜日正午～午後5時30分まで、土曜日は午前10時～午後5時30分まで(月曜日と12月29日～1月3日の休館日を除く)職員2名の常時配置、児童館としての自主事業の実施および児童の遊びや生活の指導、施設内巡回、消防訓練の実施、施設内の安全確保について仕様書に定めるとおり適切に実施した。

・自主事業の計画及び実施(主な事業)

	事業名	開催期間	参加者数
4～6	新一年生を迎えて(プレゼントと児童館利用案内等)	4/5～6/30	24人
4・5	5月の工作(ミニトレとカーネーションづくり)	4/6～5/7	26人
6	6月の工作(笛付きのプラバン)	6/9～19	57人
6・7	七夕の飾り・短冊作り	6/28～7/7	32人
7	サマーフェスティバル(光るスライムづくり等) 避難訓練	7/20	31人
7・8	夏休みの工作①(ペットボトルの蓋でコマづくり) 夏休み工作②(風船のおにゅむにゅ君づくり)	7/26～8/25	18人 26人
9	9月の工作①(ブーメランづくり) 9月の工作②(フリスビーづくり)	9/1～30	18人 31人
10	10月の工作(ハロウィンのプラバン)	10/13～30	55人
11	11月の工作(紙とんぼづくり)	11/8～30	31人
12	クリスマス会(ビーズのリースづくり、ビンゴ大会等) 避難訓練	12/11	37人
	クリスマス工作(ペーパークラフトのクリスマスツリーづくり)	12/13～23	31人
12・1	千支工作(フェルトのうさぎ)	12/26～1/11	26人
1・2	伝承あそび(ぐるぐるすごろくづくり)	1/17～2/2	15人
2・3	おひな様工作(ちりめん風布のうさぎのひな人形づくり)	2/14～3/3	14人
3	おたのしみ会(影絵鑑賞とエコ工作、くじ引き大会)	3/12	41人
	記録会(ドミノ積み)	3/24	19人

2. 収支決算概要

(単位:円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に払った金額)	5,678,000	雇用関連経費 (指定管理者が雇用している職員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	4,236,392
雑入 (預金利息等)	12	事業費 (指定管理者がイベント等事業実施のために支出した金額)	209,545
		管理運営費 (光熱水費や消耗品、修繕等、施設の維持管理のために支出した金額)	1,104,794
収入計(①)	5,678,012	支出計(②)	5,550,731

収支決算	127,281
------	---------

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、令和5年2月から3月にかけて利用者アンケートを実施し、令和4年度事業について利用者より意見聴取を行いました。

評価の視点1:施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理・運営については、条例等に則り適切に行われています。 ・コロナ禍中の運営について、感染防止対策の徹底が継続されており、昨年度より多くの児童が放課後の居場所として利用してもらえる結果になったことについて、評価します。 ・利用者アンケート「コロナ対応について」のコメントに「コロナにかからないよう指導員が対応を考えてくれている」、「パーティションがあって安心」などの回答があり、安全な児童館だと認識されている点について、評価します。 ・利用者アンケート「スタッフの対応」について、継続して高い水準を維持している点を評価します。
評価の視点2:施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な自主事業を実施し、地域での青少年健全育成に努めています。 ・感染防止対策を徹底し、イベントや工作などに積極的に取り組み、今年度に計画した自主事業について、コロナ禍の影響により「児童館まつり」は中止となりましたが、それ以外は計画とおり実施できたことを評価します。 ・サマーフェスティバル、クリスマス会、お楽しみ会などの大きなイベントも、感染対策として事前申込制を取りいれながら、実施するとともに、青少年指導員との外遊びなど、他の青少年育成団体と連携しながら実施している点を高く評価します。 ・施設前に掲示板を設置し、工作やイベントの告知を行ったことで、児童等に周知が広がり、参加人数を増加させたことを評価します。 ・工作は利用者の関心や興味を引きつけ、昨年度とは異なった内容を工作に取り入れており、児童の創作意欲の向上と、児童館を継続的に利用する機会を創出している点について評価します。 ・児童に人気の卓球については間隔を取り、時間制限を設けるなど、コロナ禍の中でもできる限り児童の要望に応える取り組みを評価します。
評価の視点3:施設の適切な維持及び管理が図られたか
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理について、外観及び館内において、清掃が行き届いていることを評価します。
評価の視点4:施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営を安定的に行う上で十分な人員配置及び財務状況と判断します。 ・指定管理会計の収支決算は良好な状況です。